

広告

企画・制作=日本経済新聞社 Nブランドスタジオ

首都高利用、1日100万台 100年先まで安全・安心を

1日約100万台が利用する首都高速道路。初開通から60年余りがたち、今や首都圏の生活や経済活動を支える重要インフラだ。建設や管理、運営は2005年の民営化で誕生した首都高速道路株式会社が担っている。更新・建設局長の高野正克氏は「100年先まで安全・安心に利用してもらえよう、対策に全力を尽くす」と話す。



高野 正克氏
首都高速道路 更新・建設局長

開通から50年以上が3割

—首都高速道路は「首都圏の大動脈」と呼ばれています。「最初の路線が開通したのは1962年12月で、京橋から芝浦までの4.5キロメートル。以来、首都圏の社会経済活動(ひと・まち・くらし)を支える大動脈としての役割を果たしてきました。現在供用中の路線は327.2キロメートル。1日の平均利用台数は100万台を超え、年換算では約4億台に上ります」

「大動脈と呼ばれるのは、人の移動はもとより、物流の要であるためです。農水産物の都区内発着輸送上める首都高利用の割合は58%に達しています。創出経済価値は2020年までの累計で約360兆円とも試算されています」

「株式会社としての首都高速道路は05年の民営化で誕生しました。「日本道路公団など道路関係4公団が、6つの高速道路株式会社(東日本・中日本・西日本・首都・阪神・本州四国連絡)に再編されました。これにより「上下分離方式」が始まりました。高速道路の保有と債務返済(Ⅱ下部)は独立行政法人である日本高速道路保有・債務返済機構が担い、6つの株式会社が建設や管理、料金徴収などの運営(Ⅱ上部)を手がけています」

「首都高は25年10月、民営化20周年という節目を迎えました。この間に中央環状線の全線開通や横浜北線・北西線などネットワークの拡充も進みました。ETC(自動料金収受システム)専用入口の増設なども取り組んでおり、民間企業としての創意工夫を生かしつつ、公共インフラを預かる重要な役割を担っています」

3段階でアプローチ

「道路の医師」として、場合によっては「外科手術」に臨むということでしょうか。「具体的なアプローチは3段階です。まずは日常的な点検・補修による維持管理。次は広範囲に補修を行う大規模修繕。そして構造物の健全性が限界に達する前に、抜本的に造り替える大規模更新です」

「大規模更新は、まさに外科手術のように大がかりなものです。長期的な安全性を確保するために不可欠な事業として現在複数のプロジェクトを進めています。「100年先も豊かに進化し続ける首都圏」を目指して取り組んでいます」

「大規模更新の具体的な事例をご紹介します。「1号羽田線の「東品川橋・鮎洲埋立部」(1.9キロメートル)が代表例です。この区間は1963年に開通しました。京浜運河に隣接し、構造物と海水面が近い過酷な環境下で塩害等による腐食が進行していました。そこで2016年から大規模更新工事に着手しました」

「交通量の多い重要な路線なので長期の通行止めはできません。迂回路を仮設して交通を切り替えながら、空いたスペースで新しい橋を造るステップを繰り返す難工事です。すぐ横にはモノレールが走っているなど制約も多い中、橋は海水面から一定程度離れた高架構造に更新しました。25年10月には更新下り線への切り替えが完了しました。今後、上り線の新しい道路への切り替え、30年度には迂回路の撤去等を含めた事業完了を目指しています」

「数年かかるという通行止めを2週間で終えた事例も注目されました。「1号羽田線の多摩川に架かる「高速大師橋」です。既存の橋の横で河口から運び込んだ部材で新たな橋を組み立て、23年に「スライド工法」で一気に架け替えました。橋の全長は約300メートルで、通常であれば数年にわたる通行止めが必要な工事です。通行止め期間を短縮する工夫をした結果、2週間で架け替えることができました」



1号羽田線の多摩川に架かる「高速大師橋」の架け替え工事の様子(上がスライド中、下がスライド後)

高齢化・耐震対策に全力

「最後に「首都圏の大動脈」を支える決意を改めてお聞かせください。「首都高は日々の生活や経済活動を支えるだけでなく、災害時には命をつなぐ「緊急交通路」としての使命も担っています。まさに、なくてはならないもの。高齢化対策や耐震対策に全力を尽くしてまいります」

「大規模更新等では、様々な制約条件から、やむを得ず通行止めや車線規制を行い、お客さまに不便をおかけすることもあります。お客さま、そして社会の皆様への配慮が、この首都高の最大の強みです。当社が「安全・安心な道で、ひと・まち・くらしを未来につなぐ」を体現して、皆様の信頼にこれからも応え続けてまいります」



狭いスペースでの更新工事(1号羽田線「東品川橋・鮎洲埋立部」)

